

フォーラムのアンケート  
平成24年年11月26日 みえ不登校フォーラム「社会的自立を考える」 アンケート

参加者数	103	回答率
アンケート回答数	66	64.1%

1 本日のフォーラムについて、どのようにしてお知りになりましたか？（複数回答あり）

学校からのチラシ	23	32.4%
学校以外からのチラシ	10	14.1%
ポスター	3	4.2%
ダイレクトメール	8	11.3%
ホームページ	11	15.5%
新聞	3	4.2%
その他	13	18.3%
計	71	100.0%

2 どのようなお立場でご参加されましたか？（複数回答あり）

保護者・身内	35	56.5%	保護者33名 身内2名
教育関係	14	22.6%	養護教諭2名 小学2名 中学2名 高校1名 特別支援1名 教育支援センター7名
当事者・元当事者	1	1.6%	当事者1名
医療機関	1	1.6%	精神保健福祉士1名
相談関係	3	4.8%	中学校スマイルハートサポーター1名 ひきこもり支援ボランティア1名 スクールカウンセラー1名
行政機関・関係機関	4	6.5%	行政機関3名 保健師1名
一般	1	1.6%	
記入なし	3	4.8%	
計	62	100.0%	

3 本日のフォーラムについて、どうお感じになりましたか？

よかった	57	86.4%
ふつう	7	10.6%
よくなかった	0	0.0%
記入なし	2	3.0%
計	66	100.0%

## 4 本日のフォーラムについて、何かご感想があればご記入ください。

- ・当事者の話が大変すばらしかった・具体的な話をきけてよかった(18)
- ・新しい発見があった (9)
- ・自立支援場所がある事を知った。
- ・これからも1人で心配しなくていいんだと思った。
- ・第一部第二部ともにとっても参考になった
- ・教科や好きなことは学校でなくても学べる。だから学校へは行けると良いと思うが、そこが合わない子どもがいても自然なことだととらえる世の中になればいいと思う。
- ・少し心がすっきりしたようだ。
- ・また次回参加したいと思う。
- ・参加できてとてもよかった(4)
- ・親は子どもの後ろから見守る。大切なことであり、難しいことでもあるが、子への信頼が子の安定につながる
- ・当事者の話を聞き、勇気をもらった(3)
- ・支援するものとして、信頼される大人・安心できる存在でありたいと思った。(2)
- ・不登校経験者・保護者の方の話をきき、どういう思いているのかを知れてよかった。
- ・とてもよい時間を過ごすことができた。(2)
- ・保護者から支援者・団体まで、幅広く話が聞けてよかった。(2)
- ・様々なサポート機関があることがわかった。
- ・理不尽な教師が不登校の人々を苦しめている。
- ・娘が不登校だった20年前よりも情報がたくさんあり、緩やかな支援が浸透していると感じた。
- ・子どもを見守る大切さ、難しさを感じた。子どもでもその時その時で色々感じ考えているのだと再確認できた。
- ・三重シュールに興味をもった。また、県内の支援ネットワークがよくわかった。
- ・親は親 子は子。子どもはいずれ自分と違う人生を歩んでいく という言葉。を胸に心の整理をつけたい。
- ・参加して、自分自身の選択の幅が広がった。
- ・当事者の話に共感できた。社会の視線はなかなか変えることはできず、1番の悩みであったが、変えられるヒントをもらった。
- ・一つ一つの団体をもっと詳しく知りたい。
- ・内容がとてもよかったから、もっと広くお知らせして参加者を募りたい。
- ・そのこがもっている時計で生きられる生活空間を保障できるしくみが必要である。すくなくとも親と担任教師がその意識が共有できれば子どもは自己実現に向かえると思う。

## 5 次回からのフォーラムで、希望される内容があれば記入ください。

- ・不登校の原因にあげられるものを具体的にあげてもらい、それについて医療面で話をしてほしい。
- ・不登校の子どもをもつ親の支援(3)
- ・小学校の不登校に視点をあてたフォーラム
- ・保護者の話をきけるフォーラム
- ・不登校当事者による語りを次回もしてほしい(3)
- ・各機関の説明については、口頭だけでなく、資料もよういして詳しく説明してほしい2
- ・なぜ学校に行かなくては行けないのかを好意的でない人の意見も交えて一緒に考えたい。
- ・いくつかのテーマにわかれてのディスカッション
- ・講演を聞くのみでなく、参加者と話がしたい。
- ・自立していない人の現状を考えてほしい。親が死んだ後の実態
- ・親の立場からの意見をもっと聞きたい。(のりこえた経験等)
- ・社会人のひきこもりの方の支援
- ・女性の当事者の話。また、女性の不登校の子どもをもつ親の話。
- ・今回と同様のフォーラム(5)
- ・当事者・親・先生の話を知りたい
- ・登校を再開できた方、再就労できた方からそのきっかけや登校前・登校後の気持ちの変化
- ・ニートやひきこもりの人に関して
- ・いじめについて
- ・不登校の子どもをもつ親がどのような行動をとっていったらよいか。

(カッコ内は人数を示す。内容は編集・抜粋している)

別紙

6.不登校の子どもや、その家族に対して効果的な取り組みを行っていると感じられる機関はございますか？  
該当する項目に○をお付けください。具体的に名称をいただける場合はお願いいたします。

小学校	6	保健センター	0	医療機関	9
中学校	6	教育相談センター	4	就業支援	3
高校	4	教育支援センター	29	カウンセリング	10
フリースクール	18	フリースペース	3	その他	1
児童相談所	2	サポート校	3		

具体的な名称があった機関

奥伊勢教育支援センター	1	三重シューレ	3	ほほえみ教室	1
大橋学園高校	1	あすなろ学園	4	ふれあい教室	2
スクールカウンセラー	2	うれしの教室	1	不登校新聞	1
宝積クリニック	1	津西高校	1		

7 「みえ不登校支援ネットワーク」について、これからどのようなことを期待されますか？

また、どのようなことを行ってほしいと思われませんか？

- ・公立校だけでなく私立校ともネットワークを作ってほしい。
- ・孤立しがちになるので、サポート体制や、生き方、様々な居場所の提示等を発信して欲しい。
- ・学校の先生方の理解が広がると良い。サポートの仕方、対応、どういう事が子どもや親を苦しめていくのかを先生方に勉強してほしい。
- ・このようなフォーラムをもっと開催してほしい。
- ・多様な生き方の紹介。啓発。ピアカウンセラーの育成。訪問相談員の育成。本格的な就業の手前に、中間的就業の場の確保
- ・就業にこだわらない他の活動(ボランティア、人の役に立つ実感)等の提供。
- ・親の寄り所、勉強の場所であってほしい。2
- ・解決の答えはひとつではないと思う。いろんな具体例をきかせていただき、自分の子どもでも対応できるか考えたい。
- ・各機関、各団体の役割を明確にして、学校現場で役に立つ資料を製作することを希望する。今後のネットワークカウンセラーの活躍に期待します。
- ・啓発を更に重点的に行い、ひとつの選択肢として不登校の認知を高めて欲しい。
- ・広くPRしてほしい。不登校からひきこもりまでの事を紹介してほしい。
- ・できれば県内北部・南部でも実施してほしい。
- ・とにかく継続して取り組んで欲しい。
- ・三重のフリースクールを増やす。自転車で行ける範囲にあるとありがたい。
- ・津方面だけでなく、広くネットワークを広げてほしい。
- ・学校がすべてではないという考えをもっと広げてほしい。
- ・今後も子ども達が選択しやすい情報をネットワークを通じて知ることができたらありがたい。
- ・子ども自身が参加できるような企画があれば外にでききっかけになったり自信や希望につながる。
- ・不登校が特別なことではないんだという認識がもてるような社会にするためにも広報活動をしてほしい。
- ・こうした社会的資源があることが、世の中でまだまだ知られていないと思う。周知広報に一層力をいれてほしい。
- ・多様な育ちを保障するためには学校とか各専門分野の枠を超えたパーソナルな目が必要。コーディネーター窓口のように、パーソナルなサービスを実施できるような連携を望む。
- ・不登校をどのように克服できたのか、体験者の話をもっと聞きたい。
- ・三重の学校のスクールカウンセラーと連携してほしい。

(内容は編集・抜粋している)